

【堀文子没後5年企画 第二弾】

# 旅する堀文子

*Life time of Hori fumiko*



堀文子《赤い花を尋ねて》平成18年(2006) 名都美術館蔵 通期展示

スケッチに刻まれた人生

2024

第Ⅰ期

6.25<sup>火</sup> - 8.4<sup>日</sup>

第Ⅱ期

8.23<sup>金</sup> - 9.29<sup>日</sup>

開館時間 ● 10:00～17:00 (入館は16:30まで) 休館日 ● 月曜日[7月15日(月・祝)、9月16日(月・祝)、23日(月・振休)]は開館、7月16日(火)、9月17日(火)、24日(火)は休館、8月5日(月)～22日(木)は展示替えのため休館

入館料 ● 一般700円、大・高生400円、中学生以下無料

※特別割引 ● 本展覧会の第Ⅰ期に有料入館された方は、本展第Ⅱ期は300円引で入館可。本展覧会の使用済有料観覧券をご提示ください(1回限り)。  
※障がい者手帳をお持ちの方は無料、付添の方1名半額 ※20名以上2割引の団体割引あり ※各種割引制度の併用はできません。

主催 ● 名都美術館

一般財団法人 林美術財団

名都美術館

MEITO ART MUSEUM



【堀文子没後5年企画 第二弾】  
Life time of Hori fumiko

# 旅する堀文子

スケッチに  
刻まれた人生

2024  
【Ⅰ】6.25(火)-8.4(日) 【Ⅱ】8.23(金)-9.29(日)



新収蔵品 堀文子《アロエの森》昭和15年(1940)頃  
通期展示

平成31年(2019)、  
多くのファンに惜しまれながら  
100歳で亡くなった**堀文子**。  
関東大震災によって**世の無常**を悟り、  
女性が社会で生きる厳しさや戦争体験など、  
多くの**困難**に直面しながら  
**人生を切り開いて**いったその生涯を、  
「**旅**」というキーワードによってひもときます。  
当館所蔵のスケッチを中心に紹介するほか、  
昭和27年(1952)に  
第2回上村松園賞を受賞した功績を称え、  
**松園**作品との並列展示も試みます。  
また、文子が影響を受けた**小倉遊亀**、  
創画展で同時期に活躍した  
**加山又造**などの作品も併せて展覧し、  
文子の芸術を多角的に紹介します。



堀文子《蝶と草花》昭和55年(1980)頃 **第Ⅰ期展示**



小倉遊亀  
《鉢と草花》  
昭和35年(1960)  
**第Ⅰ期展示**



加山又造《牡丹》  
昭和54年(1979)  
**第Ⅱ期展示**



上村松園《汐くみ》  
昭和10年(1935)頃 **第Ⅱ期展示**



堀文子スケッチ《桔梗》  
**第Ⅰ期展示**

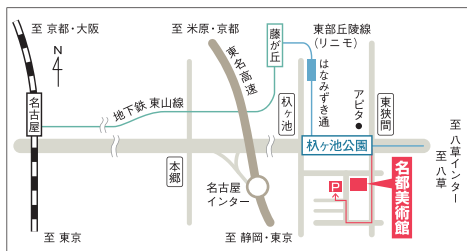


堀文子スケッチ《人形》 **第Ⅱ期展示**



堀文子スケッチ《イチゴ》 **第Ⅰ期展示**

\*すべて名都美術館蔵



公共交通機関ご利用の場合 ●東部丘陵線(リニモ)「秋ヶ池公園」駅下車、2番出口から歩道を右方向へ進み、東狭間交差点を右折(徒歩5分)。  
お車をご利用の場合 ●名古屋方面より名古屋インターを越えてから8本目の信号東狭間交差点を右折。●駐車場は東狭間交差点から南へ、  
当館の前を通り過ぎた1本目を右折。次の角を右折。約100m直進した当館西側の専用駐車場(43台)。

## 次回展

佐川美術館所蔵名品展  
没後15年 平山郁夫 一久遠の理想を追う—  
2024年10月11日(金)~12月8日(日)

一般財団法人 林美術財団

名都美術館  
MEITO ART MUSEUM

〒480-1116 愛知県長久手市秋ヶ池301番地  
TEL 0561-62-8884 <http://www.meito.hayatele.co.jp>

## イベント情報

### ●当館学芸員によるギャラリートーク

各日14:00~

**第Ⅰ期** 6月30日(日)、7月15日(月・祝)、7月30日(火)

**第Ⅱ期** 8月31日(土)、9月11日(水)、22日(日・祝)

※参加ご希望の方は当日鑑賞券が必要です。

※スケジュールは都合により、日程、内容を変更する場合があります。

※本展は名都美術館のみで開催し、巡回は致しません。